



リリース ノート

製品名 : **Fiorano SOA Platform**

バージョン : **9.5.0**

本ドキュメントは、**Fiorano SOA 9.5.0** の重要なリリース情報を記載しています。

本ドキュメントに記載されている情報は、当該製品に関する最新の情報です。他の関連ドキュメント、マニュアル、資料、パンフレットなどに記載されている情報と異なる場合には、本ドキュメントの情報を優先してください。

フィオラノ ソフトウェア 株式会社

2012 年 10 月 17 日

目次

1. 新機能	3
プリビルト コンポーネント / アダプター	3
ESB	4
eStudio	4
2. 旧バージョンからの変更点	4
3. 解消された問題点	5
4. 製品マニュアル	5
5. システム要件	6
6. カスタマ サポート	7

1. 新機能

注意: 旧バージョンから Fiorano SOA 9.5.0 へバージョン アップされる方は、**マイグレーション ガイド**を参照してください。マイグレーション ガイドは、インストール ディレクトリの下記の場所にあります。
\$FIORANO_HOME/migration/FioranoSOAMigrationGuide.pdf

Fiorano SOA 9.5.0 では、次に記載する新機能の追加および既存機能の拡張が実装されています。

プリビルト コンポーネント / アダプター

- ◆ **AS2Connector** NEW
AS2 (EDIINT AS2) EDI プロトコルに準拠したメッセージの送受信用アダプター
- ◆ **EBMSAdapter** NEW
ebXML メッセージ サービスの仕様に準拠した EDI メッセージの送受信用アダプター
- ◆ **JSONConverter** NEW
XML フォーマットと JSON (JavaScript Object Notation) フォーマット相互間のデータ変換を行うためのコンポーネント
- ◆ **SAPB1** NEW
SAP Business One ERP (バージョン 8.8, 2004, 2005, 2007) とのデータ交換を可能とするアダプター
- ◆ **SMTP / POP3**
AS1 (EDIINT AS1) EDI プロトコルに基づくメール送受信機能を追加
- ◆ **HTTPAdapters:4.0/5.0**
パラメータ値として CDATA を送信する機能の追加
- ◆ **SAPR ERP**
単一の SAP アダプターで複数の ABAP プログラムをインポートする機能を追加
- ◆ **WebServiceConsumer:4.0**
アタッチメント付きレスポンスのサポートを追加
- ◆ **WebServiceConsumer:4.0**
NTLM 認証機能を追加
- ◆ **SalesForce**
Apex Web サービスへのインポート機能を追加
- ◆ **Cache**
XML データのサポートを追加
- ◆ **DBQueryOnInput**
アウトプット ポートのスキーマを定義する機能を追加
- ◆ **FileWriter**
Base64 バイナリのデータの書き込み機能を追加
- ◆ **Aggregator**
Xpath 内で使用するネームスペースと URI のマップ機能を追加
- ◆ **XMLSplitter**
分割するデータをファイルから読み込む機能を追加

ESB

- ◆ アラート レポジトリの監査機能を追加
- ◆ イベントフローの zip ファイル内のイベントフロー プロパティ値を置き換えるコマンドライン ツールを追加
- ◆ ClearDB コマンドを実行中にデータをバックアップしておく機能を追加
- ◆ Web サービス クライアントの SSL 認証にユーザー独自の設定を定義できる機能を追加
- ◆ ピア サーバーにデプロイメント ルールで使用する Development/QA/Staging/Production のラベルを付加する機能を追加。
これにより、開発中のイベントフローやコンポーネントの実行ピアサーバーの規制などのルール設定が可能となります。
- ◆ イベントフローのエクスポート/インポートに自動的に依存関係にあるイベントフローも同時にエクスポート/インポートするように変更 (eStudio およびコマンドライン ツールで可能)
- ◆ XML および CLOB から RDB の BLOB データを生成する機能を追加
- ◆ キューおよびトピックにおける暗号化/復号化をサポート
- ◆ syslog のログ記録のサポート

eStudio

- ◆ eStudio に新たに Queue Manager ツールを追加
このツールは、稼働中のすべてのイベントプロセスのキューに滞留しているメッセージの監視に利用できます。
- ◆ HA モードにおいて、ESB サーバーに障害が発生しパッシブサーバーがアクティブに切り替わった場合、eStudio も自動的に新たなアクティブサーバーに接続が切り替わるようになりました。
- ◆ コンポーネント単位でインプットおよびアウトプットデータの暗号化/復号化を行う機能を追加
- ◆ グラフィカルな XPath エディタを追加
これによってイベントフローの各ルート上のメッセージセレクションをグラフィカルに設定できるようになりました。
- ◆ “レイジー ローディング (Lazy Loading)” オプションを eMapper に設けました。これによって、複雑な XSD のマッピング作業中のメモリ消費を抑制できます。

2. 旧バージョンからの変更点

Fiorano SOA Platform 9.5.0 では、下記の項目が旧バージョンから変更されています。

- イベントフローにデバッガー (ブレイクポイント) が設定されている場合でも、ダッシュボードからイベントフローの停止ができるように変更しました。
- 登録されているアラート設定が ClearDB コマンドで削除されないように変更しました。
- SNMP のサポートを v1 から v2 に変更しました。

- データのインポートポートへの再投入がダッシュボードからも行えるように変更しました。
- Web サービスおよび REST サービスのコンポーネントにおいてテスト用のタイムアウト値をダッシュボードから指定できるように変更しました。

3. 解消された問題点

Fiorano SOA Platform 9.5.0 で解消された問題点は、以下の通りです。

- **[Join]** コンポーネント: 永続化メッセージを有効にしている場合に Join コンポーネントが再起動できなかった問題
- **[SAPStub]** コンポーネント: プロパティシート (CPS) においてテーブル パラメータが正しく反映されなかった問題
- **[DB]** コンポーネント: 接続 ping SQL が正しく実行されなかった問題

4. 製品マニュアル

製品マニュアルは、Web ページ [Fiorano SOA マニュアル センター](#) から参照することができます。

マニュアル名	説明
Fiorano SOA User Guide	Fiorano SOA User Guide は、すべてのユーザーが対象です。サービス コンポーネントを作成する開発者に向けて、API も説明しています。 このガイドは、PDF 版と WebHelp 版 で提供しています。
Fiorano eStudio User Guide	Fiorano eStudio User Guide は、イベント プロセスを開発するすべてのユーザーを対象としています。 このガイドは、eStudio の機能と使用方法を説明しています。
Getting Started Guide	このマニュアルは、インストール方法、ESB サーバーおよび Peer サーバーの設定方法、Peer サーバーの追加方法、サービス コンポーネントの使用方法を説明しています。
Fiorano SOA Installation Guide	このマニュアルは、Fiorano SOA Platform のインストール方法を解説しています。

5. システム要件

コンポーネント	OS	Java バージョン	最小値必要な H/W	推奨する H/W
ESB Server	Windows NT Server 2003	1.5 以降	2 GB RAM 5 GB ディスク容量 1 CPU	4 GB RAM
	Red Hat Linux 4			10 GB ディスク容量
	HPUx 11i			2 デュアルコア CPU
	IBM AIX 5x			
	Solaris 10			
Peer Server	Windows NT Server 2003	1.5 以降	2 GB RAM 5 GB ディスク容量 1 CPU	8 GB RAM
	Red Hat Linux 4			10 GB ディスク容量
	HPUx 11i			2 デュアルコア CPU
	IBM AIX 5x			
	Solaris 10			
Fiorano Studio および Fiorano Tools	Windows NT Server 2003	1.5 以降	1 GB RAM 1 GB ディスク容量 1 CPU	2 GB RAM
	Red Hat Linux 4			2 GB ディスク容量
	HPUx 11i			1 デュアルコア CPU
	IBM AIX 5x			
	Solaris 10			

6. カスタマ サポート

- 評価版: info_jp@fiorano.com
評価版をご試用になりたい場合、フィオラノ ソフトウェアまでメールでご連絡ください。
- 東京テクニカル サポート センター:
電話 03 6228 4162 (月～金の 9:00 - 17:00) 登録ユーザーのみ
- サポート ポータル: [Fiorano Supportr Potal](#)
Fiorano Support Portal のご利用には、ログイン ID が必要です。
ログイン ID については、フィオラノ ソフトウェアまでお問い合わせください。

フィオラノ ソフトウェア株式会社へのお問合せ

フィオラノ ソフトウェア株式会社 銀座オフィス:

電話:03 6228 4162

FAX:03 4496 6466

メール:info_jp@fiorano.com